



笑顔、感動 「第57回体育大会」大成功!!

5月19日(日)、好天に恵まれ「体育大会」を無事開催することができました。

新学期早々からこの日に向けた取組が始まったとはいえ、実際には2日(木)の結団式から、わずか10日間あまりの期間の中で見事な仕上がりを遂げました。『453名の思いを一つにする「団体戦」』、『最高レベルの体育大会にするための「目指す熱量」』が日に日に高まり、単なる足し算にとどまらず、かけ算となって、1年生は「真の玖島中の一員」となり、2年生は「玖島中の次代を担う覚悟」をもち、3年生は「中学校生活の証」を記すという、それぞれの学年が目指すものを目に見える形で示していました。来賓や地域の皆様の40名、そして650名にも上る保護者の皆様の御臨席を賜り、お褒めの言葉を多数いただきました。創り上げるダンスも3年目を迎え、新たな伝統の一つとして確実に息づいています。

来賓や地域の皆様、保護者の皆様、休日にもかかわらず早朝から応援に駆けつけていただき、本当にありがとうございました。また、PTA会長様をはじめ三役の皆様の受付対応、駐車場係の保体部の皆様、見回りをお願いした環境生活部の皆様にも感謝申し上げます。今後も「玖島」の子供たちに、温かなご支援、ご協力をお願いいたします。



1組(赤)



2組(黄)



3組(青)



4、5組(緑)

5/19(日)第57回体育大会閉会式 生徒会長あいさつ 3年 新宮詩花

皆さん、体育大会お疲れ様でした。今日は天気もよく、予定取りに開催することができて良かったです。1年生にとっては、中学校に入って最初の大きな行事であり、2年生にとっては、先輩として1年生を引っ張る立場となった体育大会でした。3年生にとっては、最後の体育大会となり、後輩を引っ張り自分たちで考えながら、たくさんの苦労があったのではないのでしょうか。皆さん今日は楽しかったですか?「優勝できて嬉しい!」「目標を達成することができず悔しい!」など、感じていることは人それぞれだと思います。今日を迎えるまでに生徒会スローガンである「前進～百花繚乱～」を少しでも達成することはできたでしょうか?準備期間が短い活動でしたが、皆さんが真剣に取り組む、頑張ったお陰で各ブロックの個性が咲き、以前よりも前進することができた私は感じます。これまでの練習で得た団結力や周りとの協力していく力は、また次の行事へとつなげていってください。私は体育大会前に怪我をしてしまい、校旗を持って行進することも、走ることも踊ることもできず、悔しいと思うこともありましたが、皆が頑張っていて踊っている姿や一生懸命走っている姿を見ると、とても嬉しい気持ちになりました。私に、「大丈夫?」と声をかけてくれたり、歩くペースを合わせてくれたりした友達の優しさに触れ、玖島中学校がとても温かい学校であることを実感しました。皆本当にありがとう。そして、体育大会に向けて、地域の皆さんや保護者の皆様のご協力、そして先生方のご指導のおかげで今日を迎え、無事に終わることができました。本当にありがとうございました。また、これからも私たちへのご指導、サポートをお願いします。明後日からまた通常の学校生活に戻りますが、この体育大会を通して得たものを大事にして、周りへの感謝を忘れず、これからも前進していきます。

飛耳長目

「天平の霊」「風林火山」「しろばんば」等で昭和を代表する作家の井上靖は、中学・高校と柔道に打ち込んでいました。ある試合で勝った時、先輩から「お前が強いから勝った。しかし、強いから勝つ、弱いから負ける。そんな当たり前の柔道をせず、練習量が全てを決定する柔道をやろう」と言われます。つまり、練習に練習を重ねて自分を成長させる。その結果として、天命を待ち、勝利を得よう。また、近代オリンピックの創始者クーベルタンは、世界中の青年の友好心を高め、世界平和の理想を達成させようと、古代オリンピックの復活を思い立ちました。そのきっかけは、学生時代に古代オリンピックの全容を知ったからです。クーベルタンの提案は、一八九四年六月にパリで開かれた国際スポーツ会議で可決され、アテネで第一回大会が開かれました。開会式、閉会式、選手宣誓、五輪のマークは、彼の提案です。「大切なことは勝つことではなく、いかに努力したかである」という言葉も残しています。